

地域居住者の連携による農空間保全活動

長坂地区農空間保全協議会（南河内郡河南町）

- 本地区は、金剛・葛城山を水源とする水越川の流水に恵まれ、良質な米を生産している。今後も農業振興を図るには、用排水路の適切な保全管理が必要であるが、農業者の高齢化、後継者の減少により継続的な保全活動に支障が生じている。
- 多面的機能支払交付金を活用するため、令和6年4月に長坂地区農空間保全協議会を設立し、令和7年度から具体的な事業を展開している。

【地区概要】	
取組面積	13.39ha [田11.06ha 畑2.33ha]
農業用施設	開水路 5.1km 農道 3.5km ため池 2箇所
主な構成員	長坂地区自治会員（農家、非農家） 入り作農家
交付金	677千円（R7）

活動開始前の状況や課題

- 地元農家による営農が行われていたが、農業者の高齢化、後継者の不足等により、今後の継続的な農地・農業用施設の保全管理が課題
- 特に棚田部分や水の確保が困難な田等が耕作放棄地となり、竹木が繁茂し、隣接農地に悪影響を及ぼしており、その解消が課題



取組内容

- 春の溝掘りや秋の道づくりを実施し、農道・水路の補修等を行い、施設の維持管理を図っている。
- 農家に呼びかけを行い、田んぼダムや景観作物（レンゲ等）の作付等により、農地の環境保全を図る。



取組の効果

- きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的な農業用施設の保全管理を実施
- 田んぼダムの機能を発揮し、水防対策への理解促進や景観作物の作付けを行い、環境保全に寄与したい。

